

ナイス ヒト
niceな人 見つけちゃいました!

★ 今月のいいね



Vol.21

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。
『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。



静寿園の畑作業を手伝う様子

自家栽培野菜を老人ホームに贈り続ける

小野 量平 さん (88)

静内末広町に住む小野さんは、丹精込めて育てたたくさんの野菜を10年以上もの間、特別養護老人ホーム静寿園に贈り続けています。



■野菜を贈るようになったきっかけ

両親がラベンダー栽培などの農業を営んでおり、幼いころからよく手伝いをしていました。バスの運転手として働く傍ら畑を耕し、定年退職後も趣味として野菜作りを楽しんでいます。

平成17年に妻が静寿園に入所することになり、お世話になるため「何か力になりたい」と思い、園内にある畑作業を手伝うようになりました。平成20年ごろからは、職員の方への「感謝の気持ち」と、入所者の方に「自分で育てた野菜をおいしく食べてもらいたい」という思いから野菜を贈るようになり、妻が亡くなった平成25年以降もその思いは変わらず野菜を贈っています。

■野菜作りの楽しみ

自宅敷地内と三石富澤に2か所の畑があり、合わせると、おおよそ25^{アール}a（テニスコート約12面分の大きさ）になります。5月から11月にかけては、1日中、1人で畑作業をしています。

育てる野菜の種類は、年によって変わりますが、じゃがいも、かぼちゃ、大根、白菜、キャベツ、ニンジン、とうきび、枝豆、ナス、ミニトマト、ピーマン、ししとう、ぶどうなど、毎年、人を育てるのと同じように野菜を育てています。親戚や近所の人にお裾分けして、自分で育てた野菜を食べてもらうことも楽しみの一つになっています。

冬は、畑作業ができないため1日中家にいることがほとんどで、採れた野菜で漬物を作ったり、春になったらどんな野菜を作ろうか、どうやったら立派な野菜が育つかなどを考えながら、雪が解けて春になるのを待ち望んでいます。



静寿園
千葉 憲児 園長

小野さんには、10年以上もの間、静寿園の畑作業や野菜作りの手伝いをしていただいているほか、毎年たくさんの自家製の野菜をいただいております。とても感謝しています。

昨年はじゃがいも70kg、かぼちゃ67個をいただき、入所者の皆さんと一緒におしるこや軟らかいかぼちゃ団子、いも団子を作り、多くの方においしく食べていただきました。本当にありがとうございます。



入所者皆さんで、かぼちゃ団子を調理している様子

■今後について

今年で88歳になり、年齢的にも1人で畑作業を行うのは大変なため、残念ながら、野菜を贈るのは昨年で最後とさせていただきます。

今後は、健康づくりと趣味を兼ねて、主に自宅敷地内での野菜作りを続けていきたいと思っております。また、おいしいぶどう作りにも力を入れて、6人いるひ孫に食べさせてあげたいです。



